



佐々木 里加 議員



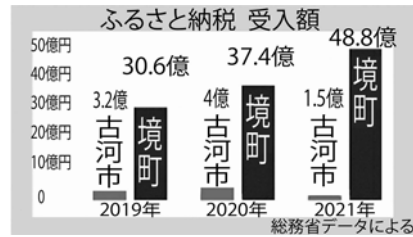
### 活力あるまちづくりのための「ふるさと納税」について

**問** ①古河市におけるふるさと納税の受入額と使い道を伺う。

②先進的事例である隣接自治体、境町のふるさと納税受入額について問う。

**答（企画政策部長）** ①2021年の受入額は1億5,812万円、使い道は、ふるさと振興基金への積立と14の事業に充当している。②総務省のホームページによれば、境町の2021年度受入額は

48億8,602万2,000円と公表されている。



**問** ③先進的事例との実績の差について、市長の考えを問う。

**答（市長）** ③国の基準により適正な運用に努めている。事業推進には、注目度を高める工夫と魅力的な返礼品が必要と考える。

**問** ④古河市におけるDMO（観光地域づくり法人）またはTMO（タウンマネジメント機関）は存在するか。存在する場合、その沿革、現

在の事業内容、経営実態を問う。

**答（産業部長）** ④DMOは一般社団法人まくらがDMCで、令和2年設立、市内の古民家を活用し農泊事業に取り組んでいる。TMOは株式会社雪華で、平成8年設立、お休み処坂長の指定管理者、古河公方公園内のジェラテリアの運営を担っている。

**問** ⑤先進的事例を参考に、ふるさと納税の寄付額を増やすため、今後行っていく具体的な取り組みを問い、同時に提案する。

**答（企画政策部長）** ⑤担当による制度説明、アドバイス等で返礼品を増やしている。効果的なPRにより新規寄附者を増やし、リピーターを確保したい。



阿久津 佳子 議員



### 古河市公共交通について

**問** ①ぐるりん号のダイヤ・ルート改正により、多くの市民から利便性が悪くなったとの声が寄せられている。早期ダイヤ改正の有無について。②デマンド交通「愛・あい号」料金体系の見直しや交通弱者から福祉車両導入の要望が多く上がっている。③制度設計中の高齢者タクシー料金助成制度と市内公共交通との融合は、市民への最大限の利便性向上につながると考える。

以上、所見を伺う。



市内7ルートを運行する「ぐるりん号」

**答（市民部長）** ①改正は駅や公共施設で乗り換えが可能なダイヤを基本方針とした。改正後2カ月余りであり、利用傾向を分析し運行事業所との調整を行い検討したい。②市内全域運行に伴い、最大15キロメートル以上の移動となるため3段階の料金体系で応分の受益者負担とした。利用状況を分析、検証していきたい。福祉車両は福祉部門と協

議を重ね課題解決に努めていく。

**答（福祉部長）** ③既存事業と混乱を生じないように制度設計を考えている。将来的には制度融合も視野に入れ検討したい。

### キャリア教育の推進について

**問** 終生まで長期に渡る、児童生徒のキャリア教育をどのように推進していくのかを伺う。

**答（教育長）** 指導者がキャリア教育の視点を持ち、教育活動を展開していく。子どもたちが自分の良さや可能性に気づき、人生を切り開くきっかけとなるよう学ぶこと、働くこと、生きることのつながりを大切にしたい古河市のキャリア教育を各学校に寄り添って指導し、推進する。